

業務改善報告書



件名	見守り支援システムの導入	法人名	医療法人 光慈会
		報告者名	太田
1 提案概要			
見守り支援システムを導入することにより、スタッフの負担軽減を図るとともに、呼吸・心拍の確認や記録ができるようになり、傾向対策を可能にする。			
2 現状と問題点(改善前)			
・安心な見守りやタイムリーなケアができない。 ・夜勤勤務のスタッフの精神的負担が増長している。			
3 具体的改善方法			
・睡眠や覚醒状態がリアルに確認できることで、身体状況変化の早期発見ができる。 ・ベットから起き上がった際に端末でお知らせがあり、カメラで確認が可能となり、転倒前に訪室できリスクが軽減できる。 ・眠りの質の向上につなげることができる。			
4 改善の効果(改善後)			
・状態がカメラで確認できるので無駄な動きがなくなり、効率よくケアできるようになった。 ・呼吸低下した時など早期発見できるので夜勤時の不安が少なくなって、スタッフが安心して勤務できるようになった。 ・ラウンド間の異常の助けとなり、看取り対応利用者様も最後までケアできた。 ・ベットからの転倒があった時、録画した映像があることで事故再発の防止に取り組める。			
(経済効果がある場合は下記を記入してください。)			
経費節減		円／年	左記数字の算出根拠
収入増加		円／年	【作業時間の短縮】
時間短縮	183	時間／年	ラウンド回数の減少30分×3回→30分×2回(△0.5時間) 0.5時間×366日＝183時間
(採点基準) ※自動計算	365000円		
5 所感			
見守り支援システムを導入することで、スタッフの精神的負担を軽減できたことにより、事故やミス等を減少させ、安心した職場環境につながるメリットができた。映像を使って家族へ説明ができるのでリスク管理がしやすくなった。			